

# 文学部FDレター no.13

作成文学部FD委員会 2020年3月

文学部では授業改善を目的に年2回の授業アンケートを実施し、ご担当の先生方にその結果をお知らせしております。学生自由記述欄に書かれたことについては、授業改善を目指した教員・学生間での情報共有という観点から、FD委員会で整理をし、ニュースレターにて公表しております。これまでと同様、以下、「学生自由記述欄」、「授業改善のために」の順で主な意見をご紹介します。

## I. 授業アンケートの学生自由記述欄

前回同様、2019年度前期の自由記述欄をFD委員が閲覧いたしました。学生の皆さんの意見を、以下、一部要約も交えながら「講義」、「外国語」、「演習」の順にご紹介いたします。

### 1. 講義

#### (1) 良かった点

- ・説明がわかりやすく専門知識が身についた。
- ・リアクションペーパーへのフィードバックがしっかり行われた。
- ・事前にレジュメが配布され、予習に役立った。
- ・教材（配布資料、映像・画像資料等）が活用されていた。
- ・グループワークやディスカッションにより授業に積極的に参加できた。

#### (2) 改善して欲しい点

- ・声が聞き取りにくいのでマイクを使って欲しい。
- ・リアクションペーパーへの回答をもっときちんと行なって欲しい。
- ・グループワークで、知らない人同士のグループだったためコミュニケーションが取れず、発表当日にメンバーが集まらないようなことがあった。
- ・パワーポイントをもっと工夫して使って欲しい（スライドの速度や字の大きさなど）。
- ・次回の授業のプリントを事前に配布して欲しい。
- ・レポートや試験に関する連絡は早めに行なって欲しい。
- ・不真面目な態度（私語、飲食、化粧、スマートフォン）を注意して欲しい。
- ・出席管理をきちんとして欲しい。
- ・怒鳴ったり、暴言を吐くなどの態度は改めて欲しい。
- ・アンケートが授業改善に反映されない。

#### (3) 教室の施設・設備（受講者数、教室の大きさ、照明の明るさなど）について

- ・ホワイトボードのマジックがかすれる。
- ・教室の温度調節が不適切（冷房が効きすぎて寒かった）。

## 2. 外国語

### (1) 良かった点

- ・先生が明るく、授業の雰囲気が良かった。
- ・先生の声や発音が聞き取りやすかった。
- ・一人ひとりへの対応（添削）が丁寧であった。
- ・リスニングの能力がついた。テストのスコアが大幅に上がった。
- ・映像、PV、ニュースなどの教材により、言語以外にもその国の文化や社会問題について学べた。
- ・初修外国語であることに十分な配慮がなされ、無理なく学べた。

### (2) 改善してほしい点

- ・先生の声が小さく聞き取れない。マイクを使って欲しい。
- ・授業の目的と内容がずれていた。
- ・提出した課題に対する十分な説明が欲しい。
- ・時間管理（授業の開始・終了時間、全員がプレゼンを行える時間配分など）をしっかりとって欲しい。
- ・教員の態度が威圧的だった。特定の学生を攻撃するような発言があったことが残念だった。
- ・買ったテキストはきちんと利用して欲しい。
- ・不真面目な学生（遅刻、私語、課題をやってこない、スマートフォンを使用するなど）への対応をきちんとして欲しい。
- ・同種の科目でありながら、教員によって内容の差が大きい。
- ・課題に見合った単位数を設定して欲しい。

### (3) 教室の施設・設備（受講者数、教室の大きさ、照明の明るさなど）について

- ・受講者数と教室の規模が合っていない。
- ・教室の温度調節が不適切。

## 3. 演習（実践的科目も含む）

### (1) 良かった点

- ・質問に対する先生の回答やアドバイスが丁寧であった。
- ・発表の機会が多くて良かった。
- ・専門的な知識が身についた。関心の幅が広がった。
- ・論理的に物事を考える力がつき、卒論への準備ができた。
- ・日頃やらない運動ができた。

### (2) 改善して欲しい点。

- ・先生の声が聞き取りにくい。

- ・先生と発表者が話しているのみで、他の学生が発言する機会がなかった。
- ・フィールドワークの機会がもっと欲しい。
- ・受講生が多すぎる。
- ・遅刻者や予習をしてこない学生は注意すべき。

### (3) 教室の施設・設備（受講者数、教室の大きさ、照明の明るさなど）について

- ・教室の温度調節が不適切（ゼミ室は冷房がなく暑い）。
- ・体育館の床が古い、汚い。

## II. 授業の改善のために

「授業改善のために」は、担当の先生方全員に提出をお願いしております。ご提出いただきました先生方に深く感謝申し上げます。また今後の提出についても引き続きご協力をお願いいたします。以下、皆さまからいただきましたご意見の中から、一部を紹介させていただきます。

### 1. 改善アンケートの結果（「自由記述欄」を含む）をどのように分析されますか。学生への解答としてお書きください。

この項目では、担当教員から学生の皆さんへの回答をお願いしております。学生の皆さんにアンケートをお願いしている以上、その回答に対して教員の側にも応える義務があること、また授業の趣旨を取り違えたような回答があった場合、教員側にも説明の機会があった方が望ましいことなど、アンケート結果をフィードバックしてゆくための体制づくりを念頭に置いた措置です。委員会向けの回答として書かれている方も見受けられますが、以下では学生に向けに意図された回答の一部をご紹介します（省略や言葉遣いの変更を行った場合もあります）。

- \*毎回の課題テスト、3回の小テスト、本テストに取り組み「大変だったが、頑張った分、かなりレベルアップができた」というような声が多く寄せられ、ほっとしている。よく頑張ったと思う。今後活かして欲しい。
- \*予習が足りない学生がいるために進度が遅くれたという指摘があった。予習が足りない学生がいたことは事実であり、何度も予習をするよう促したが、最終的に学生の自覚に頼らざるを得ない。まわりに迷惑をかけていることも気にするよう伝えることで予習を促したい。

### 2. 以下の項目について、FD委員会への回答としてお答えください。

- ①授業改善で成果がみられたご自身のFD活動について、その内容、期間、効果等について、出来る限り具体的に記述願います。

\*教材等の工夫、学生の参加、双方向の授業、学生とのコミュニケーションとの関連で

- ・資料の事前配信。
- ・授業を良くするために、自分のLMSを活用している。
- ・資料提示の方法や、教材の活用について、学生の意見を取り入れなが改善している。
- ・質問の受け方の多様化（授業中に受ける、授業後に受ける、質問カードを使用する）
- ・ネット「配信型」教材提供をここ2年ほど実施し、最近では学生から入力してもらうこともするようにした。「双方向型」に移行中である。
- ・授業の冒頭に前回の授業のコメントシートを取り上げる時間を作ったことが、前回の授業の復習や他の学生の意見を知る機会となり、授業への関心を高めた。

## ②授業改善を実施するうえでの問題点について、お聞かせください。

### \*授業規律に関して

- ・授業規律について、教員間で意識を共有してゆく必要がある。
- ・就職活動、サークル活動による欠席が度重なる学生への対応が難しい。
- ・学習態度の良くない学生たち（遅刻、私語、飲食、スマートフォンなど）が授業の環境を悪くする。
- ・必修科目のモチベーションを上げるのが難しい。
- ・講義中のスマートフォンの扱い（板書の撮影、動画撮影）について、大学としてどのように考えるか。

### \*授業運営に関して

- ・グループワークに非協力的な学生への対処方法。
- ・一つの授業のなかに理解度、関心、意欲の異なる学生たちが混在する。

### \*施設運用に関して

- ・アクティブラーニングを導入するために使える施設や設備について、教えていただけると助かる。
- ・多目的室が、グループ作業など本来の用途に応じた形で活用されておらず、講義形式の教室レイアウトが基準とされている。

### \*カリキュラム運営に関して

- ・初修外国語の場合、ある程度クラス間の足並みを揃えることが効果的。年度が始まる前に、同じ語学の非常勤教員が集まって話す機会があると良い。
- ・同種の別科目の開講順序などの変更ができれば、授業展開が効率的になる。

## ③FD活動全般に関するご意見・ご提言についてお聞かせください。

### \*アンケートの改善に関して

- ・授業時間の圧縮を避けるために、あるいはアンケートの日に休んだ学生の意見も聞くために、スマートフォンなどを使って授業外で実施してはどうか。
- ・責任をもって回答してもらうために、自由記述以外は記名式にしても良いのでは。
- ・集計結果に自由記述の内容も加えて欲しい。

### \*FD活動の目的に関して

- ・例えばLMSの活用法やアクティブラーニング等の授業方法に関する情報交換や意見

交換等々、本来の活動の方に軸足を移すべきではあるまいか。

- ・FD委員会への意見、提言がどのように生かされているのか見えない。
- ・授業準備の時間を増やすために、学内の記録管理を適正化し、学内業務の整理工夫を重ね、会議などを効率よく進めることが必要ではないか。

\*その他

- ・「授業改善のために」の用紙がどこからダウンロードできるのか分からなかった。

### Ⅲ. FD委員会より

#### 1. 委員会としての所見

委員会では学生の皆さんによる「自由記述欄」に加え、先生方からご提出いただいた「授業改善のために」にも目を通し、授業改善に向けた意見収集に努めています。

これらの意見からうかがわれる課題等について、いくらか所見を述べさせていただきます。

各先生方から、委員会に対してではなく、自由記述を書いた学生の皆さんに対する回答として記述していただいているのは、フィードバック体制の確立を目指した措置です。回を追う毎に趣旨に即した回答が増えているのは好ましい傾向であり、先生方のご理解に改めて感謝申し上げます。また、ここで紹介される回答はほんの一部ですが、先生方が学生の皆さんの声を真摯に受け止め授業改善に努めていることを、学生の皆さんにも理解していただきたいと思っています。

学生の皆さんが「良かった点」、「改善して欲しい点」として書いていること、また先生方が「授業改善のために」で述べられていることについては、毎回似た意見が出されています。

ただし、先生方の努力とともに、教材の多様化、種々の器機やICTの使用、双方向型授業への取り組みなどはもはや当たり前となり、学生の皆さんが評価する点も改善を求める点も、これらの効果的な運用に基準が置かれるようになってきました。したがって、こうした状況への対応が今後のFD活動の中心になるべきものと認識しております。一方、先生方の声の大きさや聞き取りやすさ、学生に接する態度といった基本的な問題についても、学生の皆さんからの改善要望が見られます。また、今回、冷房の効きすぎを指摘する声が多くありました。いずれもちょっとした配慮で改善できる問題ですので、適切な対応をお願いいたします。

「授業改善のために」における先生方からの指摘において、近年増えつつあるのが学生間の学力差や意欲差に関する問題や授業規律に関する問題です。これらについては、学生の皆さんからの指摘も増えつつあります。

また、先生方からはカリキュラム上の効果的な運用についても提言をいただいています。関係部署と情報を共有しつつ、改善に生かしてゆく所存です。

これまで、お知らせしてきましたLMSについては、2020年度からの仮運用を目指しています。また、全学的かつ効果的なFD活動を目指し、同じく2020年度から両学部のFD委員会を統合いたします。新体制のもと、LMSへの運用はもちろん、種々のICT機器の使用や多様な形態の授業運営などについて、情報提供の機会を作って行きたい

と思います。

## 2. 関係部署から

アンケート結果では、毎回ほぼ同様の問題が指摘されております。教務課と施設課にはその旨を報告した上で、これまでの回答を再録いたします。

### ①教務課から

#### ・時間割の編成について

できるだけ多くの皆さんが様々な授業を履修できるように努力していますが、様々な都合によりどうしても科目の重なりを避けられない場合がありますことをご理解いただき、4年間での履修計画を立てていただけるようお願いいたします。I 講時の授業は朝が早く大変ですが、多くの科目を履修しやすく開講するためにはI 講時をはずして時間割を組むことは難しい状況です。

#### ・教室の大きさや用途、人数の不釣り合いについて

受講者数に合わせて教室変更を適宜行っていますが、授業で使用する機材設備の関係で教室配当することもあり、広すぎたり、狭かったりする場合があります。教室の用途や必要な機材設備等については、ご相談ください。機材設備についてはできるだけ整備していくよう努力しておりますのでどうぞご理解ください。

#### ・語学の単位について

語学は演習科目の時間数で実施しています。1 単位の授業は 45 時間の学修を必要とすることになっており、多くの外国語科目の場合は 30 時間（15 回）の授業をもって 1 単位を基準としています。

### ②施設課から

#### ・地下体育館について

図書館の耐震工事の際に点検していますので、床が落ちる心配はありません。安全に使えるよう、床のささくれなどには注意し、補修するようにしています。

上述のように、2020 年度から統合した FD 委員会のもとで FD 活動を推進してゆく予定です。引き続きアンケートを通じて課題を汲み上げつつ、効果的な授業方法についての研修や情報共有へと少しずつ活動の場を移してゆきたいと考えております。引き続き皆さまのご協力をお願い申し上げます次第です。